

年間ごみ処理費用は 19億3,000万円

ごみの減量やリサイクルは、わたしたちの日常生活でも身近で大切な問題となってきました。今回は、市のごみ処理の現状と、ごみを減らすための取り組みについてお知らせします。



ビニール・プラスチックごみが大きく増加

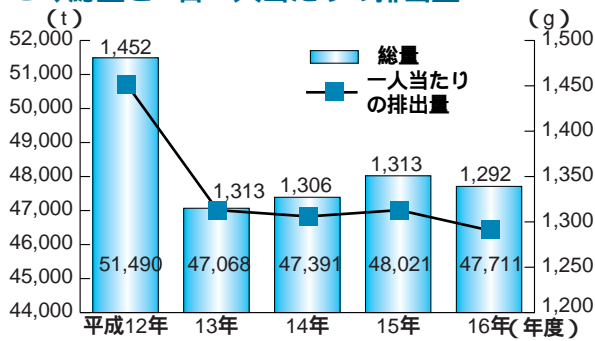
市の16年度のごみ総量は、47,711tで、これを市民一人当たりの1日のごみ排出量に換算すると、1,292gになります。

ごみ総量は、10数年横ばいの傾向がありますが、前年と比較すると年間300t程度減少しています(下表参照)。

昨年度、ごみの処理に要した経費は、19億3千万円(市民一人当たり約19,108円)で、1tのごみを処理するためには、約49,519円かかっていることとなります。

ごみの総量は減少したものの、処理に多額の経費を要するビニール・プラスチック類のごみが大きく増加しているために、ごみ処理経費は前年を上回っています。

ごみ総量と1日一人当たりの排出量



固形燃料やセメントへ再利用

再資源化への取り組みについては、リサイクル運動やリサイクルプラザでの資源物の選別に加え、

団体支援や補助金などで リサイクルを推進

近年では、ビニール・プラスチック類の固形燃料化や、いずみ清掃工場から排出される焼却灰のセメント化(エコセメント)など、新たな再資源化の方法に取り組んでおり、リサイクル率は26%になります。

リサイクルや減量化を支援

市では、各家庭でごみの減量化に取り組んでもらうため、リサイクル団体の活動推進と、家庭用ごみ減量器具設置家庭への補助金の交付を実施しています。

リサイクル団体の登録について

自治会や子ども会などの団体で、リサイクル活動に取り組んでもらえる団体を募集しています。原則として毎月1回活動を行い、集めた資源物の重量に応じて団体

家庭用ごみ減量器具設置費補助金

補助の対象者	世帯主であること 市税を滞納していないこと コンポスト容器を設置できる敷地を有すること(コンポスト容器の補助金を受ける場合に限り)
補助金額	購入額の1/2に相当する額(100円未満の端数切り捨て)とし、コンポスト容器5,000円、生ごみ処理容器1,500円、機械式生ごみ処理機50,000円を上限とする。 ただし、成田空港騒音地域については、50%増しとする。
補助基数	コンポスト容器・生ごみ処理容器は、1世帯当たり2基まで、機械式生ごみ処理機は、1世帯当たり1基までとする。
再補助対象資格	前回の補助から5年以上の期間を経過していれば、再補助の対象となります。

購入後の申請は受け付けできませんので、必ず購入前にクリーン推進課で手続きをしてください。

に奨励金)1kgにつき10円)が交付されます。
16年度末時点で、登録団体は135団体です。
家庭用ごみ減量器具設置費補助金
生ごみを減量する器具(コンポスト容器、生ごみ処理容器、機械式生ごみ処理機)に対して左記のとおり補助金を交付しています。器具を購入する場合には、必ず購入する前に補助金の申し込みをしてください。



スプレー缶やカセットボンベ

必ず使い切ってから指定ごみ袋へ

スプレー缶、カセットボンベ、シンナーなどの容器は、その排出方法によっては収集のとき、またはリサイクルプラザで処理するとき、爆発事故や火災などの発生原因となります。

このようなことが発生すると、そこで働く人の安全が損なわれるとともに、機械が破損した場合には、その修繕に多額の費用と日数を要し、その間のごみ処理にも大きな影響をおよぼします。スプレー缶、カセットボンベは、ガスなどを使い切り、穴をあけ、シンナーなどの容器は、中身を空にし、栓を開けたままか、上ぶたを取って、金物・陶磁器類(黄色の指定袋)の収集日の朝8時30分までに集積所に出してください。

なお、ガスボンベ(カセットコンロ用を除く)や消火器は、市では処理できませんので購入した販売店や専門の業者に処理をお願いします。

危険物を出す場合は面倒でも必ず下図のことに注意してください。
快適で住みよい環境づくりに、ご協力をお願いします。

くわしくはクリーン推進課 ☎20-1530へ。

第88回環境美化運動

美しいまちのために ご協力を

8月7日(日)を基準日として市内各地域で『ポイ捨てをなくし、私たちのまちを私たちの手で美しく』を合言葉に、区や自治会などの協力を得て環境美化運動が実施されます。

この運動では、各地区の道路や空き地に投げ捨てられたビン・缶の収集や、散乱ごみの回収、草刈りなどが行われます。

快適で住みよい環境づくりに、ご協力をお願いします。

くわしくはクリーン推進課
(☎20-1530)へ。

面倒でも必ず行って

スプレー缶(カセット用コンロ・殺虫剤・ヘアスプレー)

ガソリン・灯油・シンナーなどの容器

使い捨てライター

必ず使い切り、火気のない風通しの良い場所で穴を開けてから、「金物・陶磁器類」のごみ袋へ



必ず中身を空にし、栓を開けたままか、上ぶたを取って材質により分別して、それぞれのごみ袋へ



必ず使い切ったあと、着火部分を壊し、プラスチックと金物に分別してそれぞれのごみ袋へ

